



対馬の良さは、何と云っても自然が豊かなところ。そして優しく接してくれる島の人たちです！

対馬の会社員ユーチューバー

ひであき
松井 秀明さん

(美津島町在住)

続 対馬ぐらしのススメ



対馬の良さは、山の幸、海の幸も対馬でしか味わえない物がたくさんあること。自分の作っただけでも、その中に加えられるよう頑張ります！

日本一を目指すしいたけ生産者

しゅうへい
乙成 修平さん

(上県町在住)

広報つしま12月号の特集では「移住」をテーマに、移住者の声や島暮らしにスポットをあてています。現在、コロナ禍によって、世界の価値観が変わる中、都会を離れて地方で暮らす人がどんどん増えています。対馬も例外ではなく、移住者は増える傾向にあります。

今回は、大学卒業後対馬に飛びこんだ美津島町の松井秀明さんと、日本一のしいたけを作りたいと奮闘する上県町の乙成修平さんに島暮らしを始めた理由や対馬でやりたいことなどを伺いました。

大学を卒業後、何かにチャレンジしたいと考えていた松井さんは、その舞台に對馬を選びました。今までの人生では考えもつかなかった島暮らしを通じて、自分の感じた素晴らしい島のことをたくさんの人に知ってもらいたいと活動を続けています。

進路への悩みとYouTubeとの出会い

昨年4月、大学4年生になった私は、これからの進路に悩んでいました。就職活動もあまり力が入らず、自分が何をしたいのか、トンネルの中にいるようでした。そんな折、多くの有名人がYouTubeで動画を配信しているのを見て、私も動画配信を始めてみました。動画を定期的に作るうちに、自分のやりたいことが少しずつ見えてきて、YouTubeをこれからの暮らしの中に取り入れていくことができれば良いと思うようになりました。特に、大学で地方財政について学んでいたこともあり、地方での暮らしと、情報発信を結びつけることに大きな可能性を感じていくようになります。

松井 秀明さん

(千葉県出身：23歳)

横浜の大学に在学中、父の赴任先だった対馬に旅行に来たことをきっかけに移住を決意。現在は(一社)対馬CAPPAで働きながら、ユーチューバーとしても活動している。



ビデムービー

初めての対馬で見つけたもの

そのような中11月に、父が単身赴任していた対馬に生まれて初めて来ました。浅茅湾など自然の素晴らしさに圧倒されつつも、なぜこんな情報を今まで知らなかったのだろうと考えました。自分も含め、多くの人がこの対馬のすばらしさを知らないのなら、これを発信したらとても面白いのではないかと思い、対馬で暮らすことを決意しました。

「社会人でもYouTubeをやる」という目標でスタートした対馬暮らしでは、対馬に流れ着く海ごみ問題に取り組む法人で働きながら、動画配信も続けています。ここでの仕事は、自分が働けば対馬が美しくなっていくというわかりやすさがあります。

また、地域の人はもちろん、地元の小中学生や、対馬や環境問題に興味がある大学生や島外の人たちなど、多種多様な人たちとつながることができて、とても刺激的です。



家での料理動画など、ユーチューバーとしての活動をスタート。現在300本ほどの動画を配信している(YouTubeより)



海ごみについて、島外の人たちにレクチャーする

地方でこそテクノロジーを活用していきたい

動画もそうですが、ドローンなど、都会よりも地方の方がテクノロジーを活用しやすいと感じています。対馬はさらに、問題点をビジネスにするチャンスも多いと感じているので、テクノロジーで対馬がどう変化するのか体当たりで実証したいと思います。

まずは5年間、対馬でYouTubeを続けていきます！動画を通して、少しずつ対馬の魅力が伝わっていけばと思っていますし「対馬って面白いことやっている場所だな」と感じてもらい「対馬に行ってみたい!」「対馬を観てみたい!」という人を一人でも増やせていけたらと思っています。

歩いていると「動画観てるよ」って声をかけてもらうことも増えました。対馬でチャレンジしている人など、たくさんの対馬の人に出会ってほしいので、どうぞよろしくお願いします！



乙成 修平さん

(神奈川県出身・39歳)

上県町出身の父と、厳原町出身の母と共に対馬へ移住したことを機に、しいたけ生産を始める。生産から9年目で県乾しいたけ品評会で長崎県知事賞を受賞

両親の帰郷とともに対馬に移住し、これまで経験したことのない世界に飛び込んだ乙成さん。移住から10年ようやく感じた手ごたえで、これからの未来に思いをはせています。

両親の帰郷と共に対馬へ

対馬出身の両親のもと、横浜で生まれ育った私は、父が定年を迎え、実家に帰ることをきっかけに対馬に移住しました。両親の田舎暮らしを支えるために向かった対馬は、子どもの頃に行ったきりで、ホタルが舞う自然が豊かな場所くらいにしか思っていませんでした。都会と違って買い物に行くにも車で数十分という不便さにはしばらくすると慣れましたが、曲がりくねった狭い道路を運転するのは大変でした。



店員モデルとして
雑誌にも登場(本人提供)

アパレルの世界からしいたけ生産者へ

対馬に来るまでは、好きな服飾関連の仕事をしていました。仕入れから販売、たまに雑誌のモデルまでやっていました。対馬に来た時は、事務の仕事でもと思っていたところ、ちょうどしいたけ生産者の担い手育成事業が行われていて、給料を貰いながら勉強できるということで応募し、2期生として勉強することになりました。当然しいたけ作りなどしたこともありませんでしたし、対馬の特産品であることも知りませんでした。これまでとは180度違う経験は大変でしたが、講師や先輩生産者、そして両親から助けていただき、生産者としてデビューすることができました。

周囲の支えを受けて、しいたけ作り

祖父が残してくれた山でしいたけ作りを行っています。ほだ木やほだ場を自前で持っていることは、しいたけ作りを始めるにあたって大変助かりました。育てる場所によって気温などの条件が変わり、講習を受けた時と一緒にはいかないので、自分の感覚でしいたけが作れるようになるまで、5、6年は掛かりました。近所には、しいたけ作りのレジェンドが住んでいらっしゃるの、たまにほだ場に足を運んでいただければ、アドバイスをいただきます。しいたけ作りは、収穫時期の秋から春だけでなく、原木を伐採して菌を打ち込んだり、夏はほだ場の草刈りをしたりと1年を通して作業があるので大変ですが、やるからにはいいものを作っていきたいという思いがあります。



最初の頃は慣れない作業に腰を痛めたことも

これまでの恩をお返ししていきたい

対馬に来て、色々な方に助けていただいて、ここまでやることができました。自然が相手ですので、日々勉強ですが、私がこうしてしいたけ栽培を続けている姿を少しでも多くの人に見ていただきたいと思います。そして、これからは、私がこれまでにアパレルの世界で培った対面やネットでの販売などのスキルを発揮できればと思っています。そうすることで少しずつ恩返しができるとうれしいです。



U I ターンが増えている対馬

U I ターン者数の推移	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(11月末時点)
	38世帯 58人	81世帯 115人	92世帯 134人	83世帯 128人	75世帯 102人

対馬へU I ターンで移住する人たちは、ここ数年増えてきています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響から、移住やそれに伴う下見のタイミングを先延ばしするケースも見受けられましたが、U I ターン者数は前年度と同じくらいで推移しています。

U ターンの理由は「やっぱり対馬が良いから」「歳をとった親が気になるから」。I ターンは「観光で一度来島した際に魅力を感じたから」など移住の理由は様々です。対馬市では、これから島暮らしを考えている皆さんに、補助金や相談支援などによる島暮らしのサポートを行っています。

引越経費支援

市外からの荷物の運搬にかかる経費



上限
20万円

※補助対象経費の3分の2以内

住宅借上初期費用支援

民間賃貸物件を借りる際の初期費用



上限
5万円

※補助対象経費の一部

子育て世帯移住支援

中学生以下の子どもを扶養している世帯



2万円
×人数

住宅家賃支援

民間賃貸物件を借りる際の家賃



上限
3万円
×3月分

※家賃月額の2分の1

奨学金返還支援補助金

高校・大学などにおける奨学金の返還額



年間上限
24万円
5年間まで

ふるさと就職奨励補助金

30歳未満、学校卒業または退学後2年以内の方で島内企業に就職して1年以上経過し引き続き市内に住む意思のある方

10万円

結婚移住奨励補助金

婚姻届受理日前後1年以内に（夫婦または）夫婦のいずれかが市外から移住された方

5万円

移住の下見で来島する補助や、お試し住宅の提供、空き家バンクの整備などを行っています。



詳しくはこちら！

家族4人で京都から移住した際（その後、5人家族に！）、引越し費用の大部分を補助していただき助かりました。対馬の自然の中で子どもたちは、擦り傷を作りながらのびのびと遊びまわり、周りの方が温かく家族を見守ってくれとても幸せな日々を送っています！



補助を活用して家族でUターンしたSさん

地方への移住を考える人が増えている今、移住先に対馬を選んでもらえるように、対馬市では様々な取り組みを行っています。移住者の気持ちをさらに後押しできるよう、対馬の魅力を発信していきます。

「仕事」「住まい」「暮らし」の情報を発信！

対馬への移住をPRするため、市内の企業による合同企業説明会や、空き家バンクなどの住まいの相談、各種補助金などの紹介を行います。

おかえり！
ようこそ！
対馬ぐらしフェア



令和4年

1月15日（土）15:00～20:00

16日（日）10:00～16:00

JR博多シティ 10階大会議室（福岡市）

※新型コロナウイルス感染状況により中止となる可能性があります。

主催：対馬市・長崎県対馬振興局・対馬公共職業安定所